

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島県立尾道特別支援学校		
学校長氏名	服部 秀樹	栄養教諭氏名	広川 真由実
職員数	99名	児童・生徒数	120名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

昨年度までは栄養教諭が配置されていないため、教科等における食に関する指導は担任がそれぞれ実施してきました。給食時間は一同が食堂に集まって給食を食べており、昨年度栄養士の立場から食堂への掲示物や食材の実物展示を通して、子どもたちへの情報発信や食への興味・関心を促してきました。食べ物や食べることに興味があり毎日の給食を楽しみにしている子が多いが、強いこだわりや偏食・食べる意欲の無さから給食をほとんど食べない子や、家庭で一定の好物のみを日常的に食べるために肥満傾向の子もいる。これまで、食習慣についての調査を実施しておらず、学校全体としての実態を把握できていない。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 子どもたちの食習慣に係る実態把握を行う。
- 教科等における食に関する指導での栄養教諭の参画率を増やす。
- 肥満率 20%以上の出現率を低下させる。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 食生活アンケート実施

本校に在籍する幼児・児童・生徒とその保護者を対象とし、9月に食生活アンケートを実施し、給食だよりにて、結果を報告した。

項目（抜粋）

幼児・児童・生徒	<input type="checkbox"/> 毎日、朝ごはんを食べてから学校に来ていますか？ <input type="checkbox"/> 夏休みは、毎日朝ごはんを食べましたか？ <input type="checkbox"/> 昨日、今日の朝ごはんは何を食べましたか？（記述） <input type="checkbox"/> 家で、食事の準備や片づけのお手伝いをしていますか？ <input type="checkbox"/> 家で食事をする時、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか？ <input type="checkbox"/> 食事の時間は楽しみですか？
保護者	<input type="checkbox"/> 子どもさんは、学校のある日に朝食を食べていますか？食べない場合はその理由。 <input type="checkbox"/> 子どもさんは、学校の無い日に朝食を食べていますか？食べない場合はその理由。 <input type="checkbox"/> 子どもさんは、昨日と今日の朝食に何を食べましたか？（記述） <input type="checkbox"/> 保護者さん自身は、朝ごはんを食べますか？食べない場合はその理由。 <input type="checkbox"/> 子どもさんは朝食を誰と食べていますか？ <input type="checkbox"/> 子どもさんは夕食を誰とたべていますか？ <input type="checkbox"/> 子どもさんの現在の食生活についてどう思いますか？問題と思う場合はその内容。（記述）

【取組2】(テーマ) 教科等における食に関する指導への栄養教諭の参画

食に関する指導の年間計画及び食に関する指導の年間指導計画を整理し、それを基に、教科等で食に関する指導を実施する際に、担任と連携し食に関する指導の取組を行った。

(1) 知的小学部4年 生活単元学習

「健康や身体について考えよう」

食べ物の3つの働きについて、3つそろえて
食べることが大事なことを学び、給食には3つ
がそろっていることに気付いた。



(2) 知的中学部2年 生活単元学習

「お弁当を作ろう」旬の野菜について知ろう

旬の野菜は味が濃くておいしく、栄養がたくさんあり、
値段が安いことを学び、次時の材料選びで旬の野菜を取り
入れたお弁当を考え、買い物学習、調理実習につながった。



(3) 聴覚小学部5・6年 生活

「お米の勉強」(バケツ苗で稲を育て、収穫して精米する前)
お米の栄養について、精白米より玄米の方がビタミンやミネ
ラルは多いが、消化・吸収をよくするために精米することを
学んだ。



【取組3】(テーマ) 個人懇談における個別指導

2学期末懇談の際に、家で白ご飯を食べすぎる肥満傾向の幼児の
保護者に対して、給食時に使用している子供用茶碗に幼児の基準量
のごはんをよそった実物を用いながら、家庭での量との比較や、保
健室と連携した身体計測の結果から、身長体重の数値変動などを用
いて、食べる量やスピード、運動について話をした。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

県内統一メニューの「熱く燃えろ!!Cスープ」と合わせて特別支
援学校での統一メニュー「トクトクCライス」を提供した。給食試
食会では「ひろしま愛あんかけ」を提供した。給食だよりの号外で、
ひろしま給食100万食プロジェクトについてその趣旨を家庭や各
クラスへ情報発信し、掲示物や学部集会等でも紹介を行った。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

実態把握について、食生活アンケートを実施し、朝ごはんを毎日食べて登校する（83.2%）、土日や夏休みも毎日朝ご飯を食べている（72.6%）、家で食事をする時、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする（84.1%）等、数値化して実態把握することができた。

栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導では、H28年度は82.4%が給食時間であったが、H29年度は55%が教科等であり、そのほか集会等での指導も新たに実施することができた。給食時間以外の授業の場での子どもたちとのかかわりが増えることで、子どもたちにも「栄養教諭（給食の先生）」という認識ができてきている。

【課題】

実態把握の食生活アンケートを1回しか行うことができず、年度内での比較ができなかった。来年度は6月と11月に2回実施の予定。また、朝食の内容記述が難しく正確に書かれていないものが多くあったため、問い方にも検討が必要である。

教科等における食に関する指導では、教科の年間指導計画の中に栄養教諭が位置付いていない。教務部とどのように連携していくか、来年度の教科等の指導へ積極的に栄養教諭から関わっていく必要がある。

肥満の改善について、肥満率20%以上の出現率は4月→9月→1月で19.8%→22.4%→25.0%と増加した。肥満の原因を把握し、個々の実態に応じた指導をしていくため、養護教諭・担任・家庭や医療機関と継続して連携していくことが必要である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

今年度は、年度初めに具体的な成果指標を意識していなかったため、具体的な数値で目標を定めることができていなかった。食生活アンケートを実施したことにより、本校の現状が分かり課題も見えたため、

今後の様々な取組において、定期的に評価をしていく。また、給食時間の指導については、手洗い、正しい配膳、あいさつ等、継続して繰り返し行っていく。食育を学校全体で進めていくため、組織の中の栄養教諭という立場をきちんと位置づけられるよう、引き続き教職員へも働きかけていく。